セガサミーグループのSDGsへの貢献

エンタテインメントでしかできない サステナビリティの「本質」 実現を目指して



セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO
里見 治紀

2018年度、SDGsの観点を取り入れた「CSR・SDGs活動の推進に関する方針」を公表しました。策定の際、軸に据えたのはサステナブルな視点です。「SDGsありき」ではなく、あくまでグループミッションに掲げる「感動体験」の提供をテーマに、まずは本分である事業活動・社内的施策に全力を注いだ結果として世の中の要求に応えていくことが、企業と社会の持続的な発展につながり、ひいてはそれがSDGs達成の貢献になると考えています。

そして、その実現に向け、我々は「CSR推進室」から組織改編した「CSR・SDGs推進室」を中心に、既存の取り組みをSDGs的視点から捉え直し、「超少子高齢化社会への対応」「働きがい・多様性の向上と不平等の排除」「依存症問題への対応」を重要課題として掲げました。また、主要事業会社ではSDGs推進計画の策定に着手しました。

超少子高齢化社会への対応

教習所などで使用されている運転シミュレーターの多くは当社グループ企業が開発したものです。現在は教習所以外での普及に注力しています。各所で導入が進み、運転技術の再訓練の場が増えれば、近年、相次いで耳にする高齢者をはじめとした痛ましい交通事故の減少につながり、高齢化社会における一つの問題解決の契機となるはずです。

また、宮城県七ヶ浜町と包括連携協定を締結、社員を3名派遣しました。地方が抱える課題を直接感じ、町の方々と一緒に解決、共創し、貢献できればと思います。

働きがい・多様性の向上と不平等の排除

エンタテインメント企業である以上、クリエイティブな発想は不可欠です。従業員が質の高いアウトプットを続けるには、働きやすい職場でなくてはならないという観点から、徹底して労働環境の改革に取り組んできました。フレックスタイム制や副業を認める「JOB+(ジョブプラス)」などはすでに一定の効果を上げつつありますし、女性活躍推進のために何をすべきか、議論も重ねています。また、今後さらなる重要度の高まりが予想される介護休業を見直すなど、多様な働き方を実現するツールを積極的に用意していきます。

加えて、LGBTを正しく理解するという方針を会社として明文化しました。とくに海外では、クリエイティブ系の職能者にLGBTが少なくなく、我々も支援する立場になければならないと考えています。

依存症問題への対応

遊技機、ゲーム、統合型リゾートを展開する当グループ企業にとって、依存症という課題に対しての責任を負ってもいます。従来のギャンブル依存症対策は「回復」に重きを置いた対症療法でしたが、現在、京都大学と共同で、当社グループが持つビッグデータとAIなどを用いて「予防」中心の研究を進めています。売上に影響しかねず業界内でも類を見ない取り組みですが、お客さまの健康・健全な日常を守るために覚悟を持って臨んでいます。

ビジネスに出精するなかで自然と社会の要請に応えていく。これが理想的なサステナブルな姿であり本質だと我々は確信しています。エンタテインメント企業として「感動体験」を提供するという、セガサミーグループにしかできない使命を全うすることで、SDGsが掲げる豊かな社会の実現に寄与していきます。

事業活動に全力で取り組み、結果として世の中の課題を解決していく。セガサミーグループは、この持続的な活動がサステナビリティの本質と捉えています。エンタテインメントを通じて社会をもっと元気に、カラフルにする。グループとして掲げるミッションの遂行に力を注ぐことで、引き続き社会の要求に応えていきます。

2019年5月に主なグループ企業役員約70名に対し、SDGs研修を行い、11の事業会社が新たな約50プロジェクト※からなるSDGs推進計画を策定しています。主な構成は、新規事業・既存事業新分野で約3割、既存事業ラインナップ拡充で約2割、環境改善で約2割であり、今後はこれらプロジェクトのPDCAサイクルを回しながらSDGsを推進していきます。

※ 既存進行中のプロジェクト1割含む

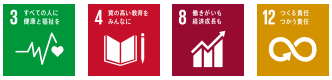
セガサミーグループのSDGsへの貢献

2015年9月に国連サミットで、人間、地球および繁栄のための行動計画として17のゴールと169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」が設定されました。世界中でSDGsの達成に向けた取り組みが行われており、企業にも主体的な関与が期待されています。セガサミーグループは、事業活動を通じてグローバルな社会課題の解決に貢献していきます。



取り組みテーマ 超少子高齢化社会への対応

関連するSDGs



主な取り組み

- 子どもたちの発育を促す玩具の提供
- 小中高生へのプログラミング教室やスポーツ教室などの出前授業の実施
- JAIA「健全化を阻害する機械基準」運用規程の遵守
- 子ども食堂への寄付
- 大人のための趣味発見サイト「シュミカツ！」の提供
- 教習所以外での運転シミュレーターの普及

取り組みに関連するページ
→ P.23、P.26-27、P.46-50

取り組みテーマ 働きがい・多様性の向上と不平等の排除

関連するSDGs



主な取り組み

- フレックスタイム制・ノー残業デーなどの導入
- 「ＪＯＢ＋」の本格施行
- 「セガサミー そらもり保育園」の開園
- LGBT支援制度や設備の導入
- 就業規則に「性的志向や性自認を理由とした差別の禁止」を明記
- 介護休業制度のさらなる拡充検討
- 東京レインボープライド2019への協賛

取り組みに関連するページ
→ P.33-37、P.47

取り組みテーマ 依存症問題への対応

関連するSDGs



主な取り組み

- 京都大学との依存症予防に関する共同研究の実施
- 一部ゲームタイトルで年齢制限による月間の課金上限を設定
- 有料ガチャにおいてアイテムごとの入手確率を明記

取り組みに関連するページ
→ P.26-27

環境対策など

関連するSDGs



主な取り組み

- 各店舗のエネルギー使用量見える化
- アミューズメント施設や製品の省電力化
- バイオマスなど再生可能エネルギー利用の推進
- 製品や事業活動における3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進
- プラスチック問題への取り組み
- 森林整備活動などによる生物多様性の保全
- CO_2排出量測定スコープ3およびTCFD対応の推進

取り組みに関連するページ
→ P.42-45

お客さまとともに

グループCSR憲章

私たちは、いつの時代においても、
お客さまとともに歩みながら、感動体験を創造し続けます。

グループ行動規範

「安心・安全・高品質」「顧客の満足」「製品安全性の確保」

(1) 常にお客さまの期待に応えられる、安心・安全かつ高品質な商品・サービスの提供に努めます。
(2) 常にお客さまの声に耳を傾け、満足頂ける商品・サービスの提供に努めます。
(3) 常にお客さまの目線に立ち、適正価格で、かつ迅速な商品・サービスの提供に努めます。
(4) 常に市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続け、技術向上・アイデア創出に努めます。
(5) 自社の責任で製品設計を行う場合、製品が各国の法令等で定める安全基準を満たすよう努めます。

「適正な取引関係」「情報開示」「クレーム・通報」

(6) お客さまとは常に適正な取引関係を保ちます。適正な利潤を損ねるような不当廉価販売、正常な商行為と認められないような行為は一切行いません。
(7) セガサミーグループの企業活動・商品・サービスについて、お客さまのより一層の理解に役立つ情報を、積極的に開示します。
(8) クレーム・トラブル・事故等については、内容を精査し、適切な対応を行います。



(株)セガゲームス
第1管理部 事業推進チーム プロデューサー
小玉 理恵子 (Kodama, Rieko)

日本人女性として初受賞！「Game Developers Choice Awards 2019パイオニア賞」

入社当初、デザイナーとしてスタートした私ですが、ゲーム制作に関わる立場を替えながらも、より楽しんでもらえる遊びやシナリオを、より愛しんでもらえるキャラクターを全世界のユーザーの方々にも届けたいと思い続けてきました。現在は、SEGA AGESシリーズと銘打ったレトロタイトル復刻プロジェクトに携わっており、多くのユーザーの皆さまにレトロタイトルの忠実な復刻と追加される新しい遊びの要素を、最新のハードで体験をしていただくことを目標に開発しています。ゲーム開発を生業として30余年経ちましたが、これからもセガサミーグループの一員として、世界の皆さまにゲームで遊ぶ楽しさと感動を届けられる人であり続けたいと思います。



※「Game Developers Choice Awards」は、ゲーム業界のクリエイターによって構成される団体「International Choice Awards Network(ICAN)」の選考により、発表されたゲームを、創造性、芸術性、技術的な観点から評価し、功績をあげた開発者やゲームに対して年次で表彰する2001年よりスタートしたアワード。パイオニア賞は日本人ゲーム開発者において史上3人目、女性としては史上初の受賞。



(株)トムス・エンタテインメント YouTubeプロジェクトチーム

(左)佐々木 智子 (Sasaki, Tomoko) **(左から2人目)江橋 舞子** (Ebashi, Maiko)

(右から2人目)斉藤 有紀 (Saito, Yuki) **(右)末木 文** (Sueki, Aya)

登録者数10万人を最速突破！
“TMSアニメ55周年チャンネル”開設



▲ 開設3ヶ月弱でチャンネル登録者10万人突破！快挙を記念し、YouTubeから竹崎社長へチャンネル名が刻印された銀ボタンが授与されました。



▲ チラシは全国のセガ店舗にて配布中。

トムスには次世代に伝えたい名作アニメがたくさんあります。これらの名作と若い世代が出会える“タッチポイント”＆“リブランディング”の一環として「TMSアニメ55周年公式チャンネル」を2019年4月より期間限定で開設しました。「続きが見たいのでAmazonビデオで買いました」「お母さんの勧めで見てみたら面白い！」という嬉しいコメントや、期待以上の視聴回数を記録中の『ムシキング』や『じゃりン子チエ』のポテンシャルも再確認でき、チャンネル登録者数は開設3ヶ月弱で10万人を突破しました。TMSアニメを未来へつなぐレール創りはまだ始まったばかり。事業を通じ、全世代のファンに感動体験を伝えていきたいです。(斉藤)

TMSアニメ55周年公式チャンネル
http://yt.be/TMS-55



セガサミーゴルフ
エンタテインメント(株)
運営部 マスター室 主任

鈴木 一人
(Suzuki, Kazuhito)

最高の満足いくゴルフ場での１日を過ごしていただくために

ゴルフ場運営におけるマスター室は、ゴルフ場の商品価値を上げるために、お客さまが支払う対価に対して、またリピーターとなっていただくための重要な業務を担っています。お客さまに満足して、スムーズなラウンドと快適なプレーをしていただけるよう、キャディに対するスキルアップの教育指導、プレー進行やコース内の状況把握に関する管理業務など日々遂行しています。新生マスター室としてスタートして2年目。まだまだ経験・知識不足という側面は否めませんが、「三方よし」の目標を掲げ、お客さまに感動を与えるサービスを提供していけるように全員のベクトルを合わせています。マスター室とキャディ、他セクションとの間でお客さまの情報などに関して見落としがないように、緊密なコミュニケーションと情報の共有の徹底をしっかり行い、お客さま、キャディ、マスター室、そして会社全体が信頼し合える関係を築いていきたいと思います。



季節を意識した
イベントで感動体験を！



学生時代、数年間カフェや塾でアルバイトを経験し、人と接する仕事をしたい！という思いからセガ エンタテインメントへ入社を決意しました。入社してから秋葉原や東京ドームシティ店へ配属され、たくさんのお客さまとふれあい、学ぶことができました。

2018年10月より横浜中華街店の店長に配属となり、今までの経験を活かしながら、日々スタッフと一緒に「10代20代を中心としたお客さまにどうやったらもっと喜んでいただけるか」を考え、実行しています。

特に今、力を入れているのは2階のインスタ映えを意識したフォトジェニックスポットです。チャイナ服のレンタルも実施しており、スタッフが率先して季節ごとにイベントを意識した装飾を行ってくれています。今後もスタッフとともに、お客さまに感動を体験していただける空間を創造していきたいと思います。



(株)セガ エンタテインメント
オペレーション統括本部
中日本営業部
東京西エリア
セガ横浜中華街

細美 奏子
(Hosomi, Kanako)



J-NEXT
エージェンシー(株)
ブライダル事業部
(右)志賀 早紀子
(Sakiko, Shiga)

J-NEXT
エージェンシー(株)
ブライダル事業部
(左)岡田 彩乃
(Ayano, Okada)

お客さまとともに 最高の幸せを感じる瞬間のために

ブライダル事業部では、結婚式を挙げられるお二人の幸せの門出を心から祝福し、感動的な挙式の演出をお手伝いしています。失敗や間違いが許されない緊張感の高い仕事ですが、現場で活躍する牧師や司会者をはじめ、プロの楽器奏者や聖歌隊のクオリティ向上とモチベーションアップに向けたサポートを、ブライダル業界経験者や音大卒のプロのスタッフでサポートしています。

お客さまから「素晴らしい演奏で挙式の厳かさが増し、とても感動的でした」「司会者の上手なリードのおかげで素敵な披露宴になりました」などのお言葉をいただけた時が、私たちの最大の喜びであり、さらなる業務のレベルアップの原動力となっています。



“共歓(きょうかん)”をテーマに 新たな価値観を創造！



現在、韓国の「パラダイスシティ」では50名以上のセガサミー職員が勤務しています。日本や諸外国のお客さまに対し、日本人ならではのサービスが提供できるように日々模索しています。

その中でも私が所属するカジノ運営パートでは、ハウス(カジノ側)やお客さまの勝ち負けを超越し、お客さまと職員がともに楽しみや喜びを分かち合う「共歓(きょうかん)」というテーマのもと、既存カジノには無い新たな価値観を生み出そうと、言葉や文化の違いの壁などにぶつかりながらも奮闘し続けています。

そして、ここでの経験を活かし、日本にセガサミーIRが開業した暁には、日本が世界に誇れる唯一無二の存在になれるようこれからも精進していきます。



(株)パラダイスセガサミー
日本市場企画運営部門
運営パート 副パート長
上杉 幸治 (Uesugi, Koji)

運転するすべての方々の 安全運転技術の向上に取り組んでいきます

2013年より新規事業の取り組みとして、ドライビングシミュレーターの開発・販売を開始し、2019年3月までに自動車教習所をはじめ、陸上自衛隊・物流会社など、累計260台を納品させていただきました。教習所・陸上自衛隊においては、運転免許取得時の講習用として、物流会社などにおいては、社内での安全運転講習に本シミュレーターを使用し、ドライバーの危険予測能力向上のため、活用されています。

今後は、ソフトを活用した企業研修への取り組み、高齢者向けの小型ドライビングシミュレーターや免許センター向けの自動車運転シミュレーター開発にも展開し、安全運転関連事業を拡大していきたいと考えています。

また、高齢者が少しでも安全に運転ができるように、ドクターのアドバイスを取り入れながら、社会課題とされる高齢者の運転にも、貢献できる取り組みを行っていきます。





(株)セガ・ロジスティクスサービス
営業部 副部長
岩城 匡宏 (Iwaki, Masahiro)

導入先のお客さまの声

シモハナ物流(株) 管理統括部 安全教育 統括マネジャー
松永 政登様
トラックには、やはり危険予知訓練(KYT)が一番重要です。セガグループ製品にしたのは、ゲーム機器メーカーならではのリアルな映像によって再現性の高いビジュアルで高い教習効果が望めるからです。当社では特に初心者や未経験者の危険予測能力の向上に役立てたいと考えています。同製品を設置している部屋は“ドライビングスクール”と名付けられ、社員なら誰でも利用可能です。導入から4ヶ月間で300名以上が体験し、安全運転に役立てられています。

お客さま満足の追求

お客さまニーズの把握と反映

■ お客さまサポート体制

E お客さまの声を製品・サービスの品質向上につなげるため、ユーザーサポート窓口を運用する一方で、様々なお客さま情報を社内各部署に届ける専門の組織（CRM推進部）を設けています。この組織は2つの課で構成されています。

①お客さまの満足を追求する「お客様相談課」

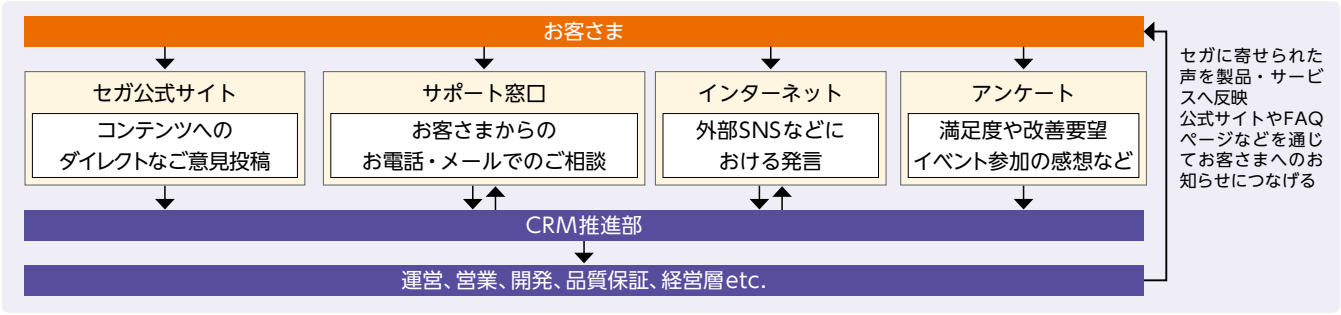
ユーザーサポート窓口の運用を通じて個々のお問い合わせに迅速・的確にお応えする一方で、ツールを活用してアンケートやWEBサイト・外部SNSなどからお客さまの声を効率的に収集・蓄積し、関連各所へ市場の動きを報告しています。開発など事業側では製品・サービスの利用状況と組み合わせ、徹底的に分析することで、スピーディな改善や進化・新企画の創出に活かす体制づくりが進んでいます。

②安全かつ合理的に個人情報を取り扱う「IDサービス課」

グループ横断でユーザー認証やオンライン決済を可能とする会員システム「SEGA ID」のインフラを提供するとともに、SEGA IDをキーにしてほかの情報と結合・蓄積できる仕組みも展開しています。また、2017年6月にはプライバシーマークを取得し、お預かりする個人情報がより適切に管理・運用される環境を設けつつ、プライバシーマークの社外掲出を通じて社会的な信頼の獲得にも努めています。

同部署では、これまでもITツールを使い、ユーザーデータの調査を行っていましたが、2018年度より顧客情報活用を促進するための土壌づくりを開始しました。お客さまに「もっと深く・ずっと遊んでいただくための関係構築」をスローガンに、一部開発部署からゲームサーバーログの提供を受け、お客さまの利用背景とゲームのプレイ状況を掛け合わせての市場報告強化に取り組んでいます。

■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制（エンタテインメントコンテンツ事業）

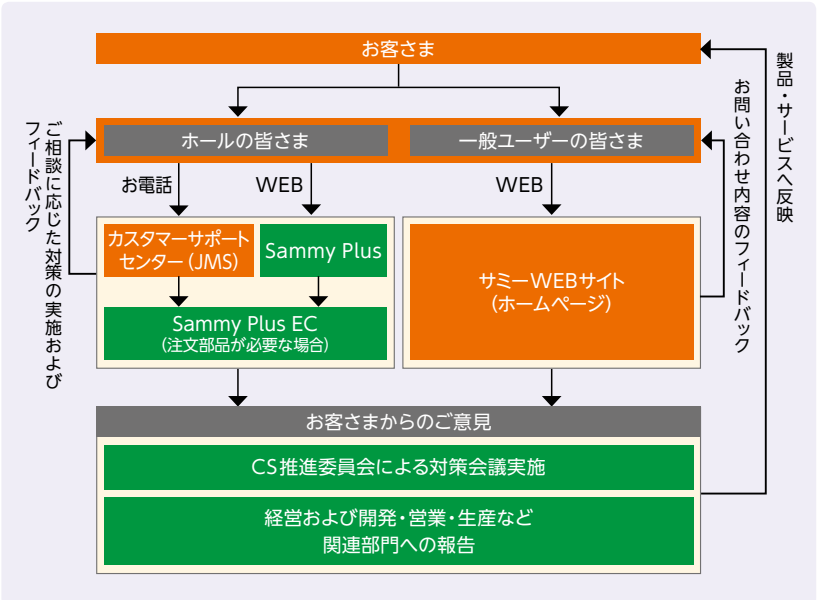


遊 2017年度、コールセンターとパーツセンターを統合しました。電話での機械故障やトラブルシューティングに関するお問い合わせ受け付けから、アフター部品の出荷、故障のお問い合わせいただいたお客さまへのフォローコール、故障部品の回収までを一元的に実施しています。それにより、今まで以上にスピーディな対応を実現するとともに、故障部品を実機に装着して検証するなどの研修を通じた的確な故障診断の実施を目指しています。

また、お客さまの利便性向上施策として、1.電話だけでご説明することが難しい部品の「搭載箇所」や「交換方法」を、アフター報配信WEBサイト「Sammy Plus」を併用して分かりやすく説明するマルチチャネル案内の実施や、2.お客さまのご都合に合わせた部品注文が可能となるアフター部品のイーコマースサイト「Sammy Plus EC」の展開、3.競合メーカーのコールセンターと電話番号統一など、お客さまが利用しやすい環境の整備を進めています。

そして、サポートセンターへ寄せられたお客さまの声は、カスタマーサービス部で集計・分析し、タイムリーに関連部門へ共有することで、故障抑制や遊技機の操作性向上など、開発部門や生産部門のものづくりに活かされています。

■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制（遊技機事業）



製品・サービスの安全と品質保証

製品・サービスの安全と品質保証

■ 品質保証体制

E セガ・インタラクティブでは、営業、開発などのラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準並びに業界団体（JAIA※）のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様・設計仕様・量産仕様・量産判定の４つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。このほか、さまざまな安全管理手法を用いて製品のリスクを評価するPL診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

※ JAIA：一般社団法人日本アミューズメント産業協会

■ AM機器の品質保証全体フロー概略



※ DR＝デザインレビュー（設計審査）

■ お客さまの声を活かす仕組み

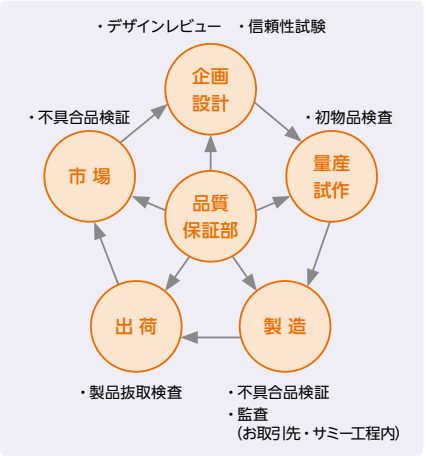


遊 サミーでは積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、実現のための施策として以下の活動を行っています。

①品質マニュアルの作成や品質記録の管理
②お取引先における4M管理チェックや監査・指導
③生産時における工程監査や高温環境下での製品打込み検査
④可動役物の検査仕様の適正化と寿命試験による評価検証
⑤開発・営業・生産部門との品質に関する連携

これらの活動により、「重要不具合」ゼロの目標を達成しました。

● 品質保証活動（遊技機事業）



健全に楽しんでいただくための取り組み

製品・サービスへの表示とラベリング

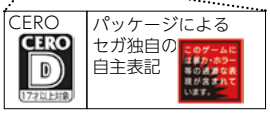
E セガゲームスでは、家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取り扱い説明書などに関して、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示

することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO※に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。またCEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした9カテゴリー、26項目のガイドラインを策定するほか、イントラブログを通じて国内外の倫理的な自主表現に関する最新事例を随時発信することで、社員の意識向上を図っています。

※ CERO：特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構



JUDGE EYES
死神の遺言
©SEGA



CEROのレーティング制度に基づく対象年齢表示と自主基準の表示

適正なコンテンツ利用のための整備

E 遊 スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツを提供するエンタテインメントコンテンツ事業のセガゲームス並びに遊技機事業のサミーネットワークスでは主に、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、国内向けのほぼすべてのタイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けています。また、有料で販売しているポイントなどを使用して遊ぶガチャについては、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。いずれも業界団体のガイドラインに準じたもので、今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

不正防止対策

遊 遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」(2004年7月施行) を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆるゴト行為を未然に防ぐために遊技機不正対策グループを設置し、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。複雑化する不正改造に対しては、遊技機の流通過程を把握することで、不正に改造された遊技機そのものを市場から根絶していく取り組みを進めています。

また、一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子などで注意を促すなどの対策を図っています。



機種別の詳細情報や遊び方を掲載した小冊子でも、不正防止などの注意を促しています

©SUNRISE/PROJECT GEASS Character Design©2006 CLAMP・ST
©SUNRISE/PROJECT GEASS Character Design©2006-2008 CLAMP・ST
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc. ©Sammy

倫理・社会的な配慮

E セガ・インタラクティブでは、JAIAの制定する「健全化を阻害する機械基準」の運用規程を遵守し、製品化前の社内検証において、過度に残虐な表現やお客さまを不快にさせてしまう表現が無いか、チェックを行っています。

遊 サミーでは社内の監査機関である倫理委員会を設置し、一定の倫理基準や社会ルールなどを満たした遊技機を開発しています。また、独自のガイドラインを策定し、犯罪行為を誘発、または著しく射幸心をそそるおそれのある内容などが演出に含まれることのないように管理しています。のめり込み防止 (射幸性に関する研究協力含む) に関する取り組みは統合レポート「社会関係資本」の「規制」の項目をご参照ください。

依存症対策

E 世界保健機関 (WHO) 年次総会 (2019年5月) において、オンラインゲームやテレビゲームの過度なプレイによって、「ゲーム依存症」が新たな疾患として認定されました。

エンタテインメントコンテンツ事業部門では、射幸性が高く高額課金につながるような「ガチャ」に関して、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けるほか、社内ガイドラインを定め、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。

遊

遊技業界では、2003年の「ぱちんこ依存問題研究会」の発足を契機に「のめり込み」に関する議論に乗り出しました。2006年には、業界団体の支援によって「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」が設立され、公的機関と連携を取りながら問題解決に向けた取り組みを進めており、啓発活動や電話相談などの幅広い取り組みを行っています。

このほか業界では、使用金額に上限を設定する「自己申告プログラム」や、全国各店舗で依存問題に関する相談に応じる「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の配置も進めています。2017年1月には、遊技産業14団体(総称:パチンコ・パチスロ産業21世紀会)が「パチンコ・パチスロ依存(のめりこみ)問題に対する声明」を発表し、業界横断的に「のめり込み」対策に取り組むことを表明。同年11月には、RSNへの支援強化を柱とする依存問題対策強化に向けた決議を行いました。当グループもこうした取り組みを主導し、業界の健全な発展に貢献していきます。



依存症ポスター

安心安全なIR 施設の開発・運営を目指して

■ ギャンブル依存症についての産学共同研究を開始

R

セガサミーホールディングスと、国立大学法人 京都大学は、ギャンブリング行動の遷移に関するデータの収集と分析を通じて、ギャンブル依存症のプロセス研究※を産学共同で行います。

本研究は、実際に営業中の海外カジノ施設におけるプレイヤー(日本人を含む)のプレイデータを収集・分析することにより、人が危険な賭けに至る前の兆候を明らかにすることを目的として実施します。セガサミーでは、本研究成果と結びつけることにより、依存症の兆候がみられるプレイヤーを早期に発見し、深刻化を未然に防ぐ仕組みの確立を目指します。あわせて施設利用時における自制・抑制を促す施設オペレーションを確立することで、啓発・予防から医療機関などによる治療との連携まで一貫した体系的なギャンブル依存症対策の構築を目指します。

※ 本研究は、京都大学 こころの未来研究センターにおいて、2021年3月まで共同研究を実施予定

おもちゃ大賞2019

前年度ヒットセールス賞、大賞2品含む、最多6商品受賞

セガトイズは、1991 年の開業以来、国内外において、小さなお子さまからお年寄りまで、安全で心から楽しんでいただけるエンタテインメントをお届けしています。世界中の人々に「楽しい時間」と「絆」を提供するという強い想いのもと、玩具だけにとどまらず、飲食施設や様々なキャラクターなどを通して、今後も、新しい感動体験を提供し、さらなる進化・成長を続けていきます。


Designed & ©2018 Worlds Apart Ltd. All Rights Reserved. ©SEGATOYS

日本おもちゃ大賞2019
前年度ヒットセールス賞
WHO are YOU ?(ふーあーゆー)


日本おもちゃ大賞2019
イノベイティブ・トイ部門 大賞
夢ペット 産んじゃったシリーズ
ねこ産んじゃった! / いぬ産んじゃった! /
うさぎ産んじゃった!


日本おもちゃ大賞2019
エデュケーショナル・トイ部門 大賞
テレビにうつって! リズムでえいご
ワンダフルチャンネル


©やなせ・F・T・N

日本おもちゃ大賞2019
共遊玩具部門 優秀賞
いらっしゃいませ! アンパンマンコンビニ


日本おもちゃ大賞2019
コミュニケーション・トイ部門 優秀賞
動く絵本プロジェクター
ドリームスイッチ


©やなせ・F・T・N

日本おもちゃ大賞2019
共遊玩具部門 優秀賞
はじめてプログラミング!
どの道とおる? アンパンマンドライブカー

お取引先とともに

グループCSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、
共に感動体験を創造し続けます。

グループ行動規範

「公正な関係」「公平な選定」

(1) お取引先との関係は、常に清廉・透明・公正なものとし、もたれ合いや癒着と誤解されるような行動は、一切行いません。
(2) お取引先との関係において優越的地位を濫用した不当な不利益を及ぼす取引※は行いません。
(3) お取引先の選定については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断します。
(4) グループ会社とも、透明で公正な取引を行います。

「接待・贈答」

(5) お取引先に接待・贈答を行う場合は、社内で定められたルールに従うだけでなく、社会的常識に照らし合わせ、節度を保ち、適切に判断し、実行します。

「個人利益」

(6) お取引先とは、立場を利用して利益や便宜の供与を受けるなどの個人的利益の追求を行いません。

※ 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（独禁法）、下請代金支払遅延等防止法（下請法）等をいう。



ATLUS

(株)アトラス
セールス&ミュージックビジネス部
セールスチームチーフ
三﨑 康世 (Misaki, Yasuyo)

「分かりやすい説明」で信頼関係を築き お客さまに納得と安心感を

ゲームの商品をご案内する際、その場で最初から最後までプレイしていただくことが難しいため、どのような内容なのかということに関し、お取引さまは私たち営業の説明や感想でしか判断することができません。ゲームの内容をしっかり把握した上でご説明し、お取引さまが納得して発注できる形を作ることが大切です。その上で、ゲーム内容や市場動向の理解はもちろん、お取引さまとの信頼関係を築いていくことが何より重要だと考えます。2019年10月発売の「ペルソナ５ ザ・ロイヤル」では、作品の内容については太鼓判をいただけていましたので、ターゲットやプロモーションの戦略を分かりやすく説明し、確実に売れるという安心感を与えるよう心掛けました。今後もお取引さまとの信頼関係を深め、アトラスタイトルへの信頼も得ていきたいと思います。





(株)セガ・インタラクティブ
技術本部 AMインフラ研究開発部
技術推進セクション・
セクションマネージャー
阿部 輝仁（Abe, Teruhito）

キャッシュレス化の流れに、お取引先さまとWin-Winの関係構築へ

ゲームセンターで遊ぶお客さまがパブリック電子マネーでゲーム料金の支払いができるよう、アミューズメント機器に電子決済機能を組み込み内蔵化するプロジェクトでマネジメントを担当しています。このプロジェクトが立ち上がったのは、TFペイメントサービス社が開発・展開する決済ソリューション「シンカクラウド」が日本市場で実績を上げていたことが大きなきっかけでした。内蔵化を進めることでオペレーターさまの初期導入費用を下げ、全国のオペレーターさまとの契約を取り次ぐ加盟店開拓業務での提携により、電子決済の普及を後押ししています。同社が提供するオペレーターさま向けのPOSサービスにアミューズメント機器として準拠することで、業界標準化にも貢献しています。このように、同社のビジネス拡大に寄与しながらWin-Winな関係性の中で協業を進めています。キャッシュレス決済に世間の注目が集まる中、プロジェクトの成果がお客様にどれほど受け入れられていくのか、一歩先を見据えながら新たな施策を検討していきたいと思います。



お取引先さまの信頼に尽くし、公正を徹底的に追及

現在、私はマカオのカジノオペレーターをお客さまとして、営業の業務を行っています。カジノ市場は何よりも信頼が大切であり、ゲーム画面上の表現をはじめ、プレイヤーがルールを理解できるか、意図しない挙動が起こらないか、製品を導入する前に一丸となって議論し、時にはお取引先にプレイヤーへの説明スタッフをつけていただいたり、開発部へ依頼してソフト修正を行うなど、公正であることを追求しています。

カジノオペレーターは政府機関へ製品の詳細や稼働状況を報告する必要があり、弊社にソフトプログラミングに関する非常に細かな質問や機器の公平性に関する質問などが寄せられます。これら一点一点すべてに迅速かつ正確に応えていくことで、お取引先はプレイヤーや政府機関から信頼され、それがお取引先からの我々セガサミークリエイションへの信頼へと変わっていきます。

我々の信頼のためには、“お取引先の信頼に尽くすこと”、と信じてこれからも誠実に向き合いたいと思います。





セガサミークリエイション(株)
営業本部 営業GR
藤本 勝大
(Fujimoto, Katsuhiro)

CSR調達研修

英国で「現代奴隷法」の制定がなされ、児童労働や強制労働などの人権侵害問題の法規制が進んでいます。
エンタテインメントの業界もこれら人権侵害問題と深い関わりがあり、グループ企業7社の調達、購買関係者を対象にCSR調達研修を実施しました。2018年度は4回開催、100名が受講し、講義「CSR調達～サプライチェーンへのCSR浸透～」、カードゲーム「GAME OF CHOICE」を通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会との関わり方について考える機会を創出しています。

2018年度の開催実績

企業名	開催日		参加者数(名)	対象者
7社合同 (SSC、SAMMY、SIC、SE、TOYS、SLS、DL)	2019年	2月14日	22	調達、購買関係者
		2月22日	36	調達、購買関係者
		2月26日	22	調達、購買関係者
		3月5日	20	調達、購買関係者
2018年度計	計4回		計100名	

CSR調達研修プログラム

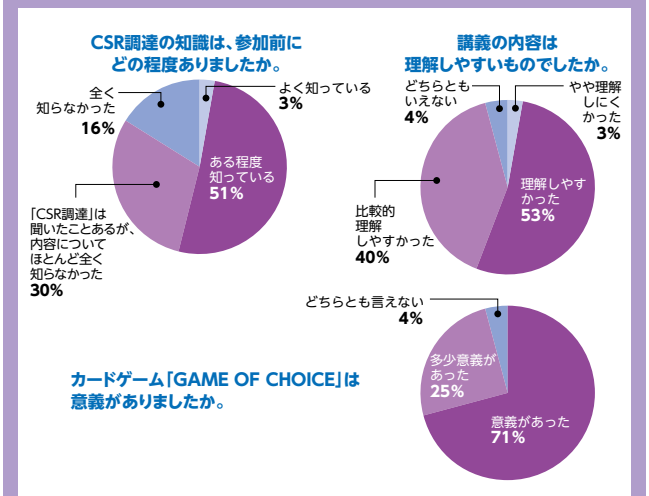
15：15　開会、研修趣旨説明
15：30　〔講義〕「CSR調達～サプライチェーンへのCSR浸透～」
16：30　休憩
16：40　カードゲームによるグループワーク
17：40　受講アンケート記入
18：00　閉会

※ 講師＆ファシリテーター：CSR・SDGs推進室

研修の様子と受講後アンケート

CSR調達研修では、まず講義で「CSR調達～サプライチェーンへのCSR浸透～」について理解を深めます。
その後カードゲーム「GAME OF CHOICE」を通じて、企業、消費者、小売店、コミュニティ、Tier1サプライヤー、NGO、株主のキャラクターになりきって、「あなたは企業の代表者だったら、どう動くのか？そしてあなたはサプライチェーンのステークホルダーだったら、どのような行動を取るか？など、あるリスクに対する行動を選択し、選定理由についてディスカッションしました。
グループ間の調達、購買の理解や交流ができるため、90%以上の方が「意義があった」と回答しています。

アンケート集計



受講者コメント

- 各々の立場になりきることにより、当事者意識が理解度を深めた。
- 「現代奴隷」という単語に馴染みがなかったので、興味を持つきっかけとなるのが良かった。取引先のその先にも意識して仕事しようと思った。
- 社員間の交流が有意義だった。CSRの意味が良く理解でき、仕事に責任と楽しみをもって取り組みたいと思った。
- 日々意識しているが、改めて重要なことと理解できました。
- 各発言者が明確化されており、企業に勤めている上で、立場を変えてやるのは理解を深めるのに良かった。
- 企業としては、CSR問題が発生した場合、すべてを丸く収めることはできない。問題が発生しないように事前に対応が必要。

公平・公正な購買のために

公平・公正な取引の徹底

お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、
以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

Ⅰ. 労働
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止

Ⅱ. 環境
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減

Ⅲ. 安全衛生
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理

Ⅳ. 品質・安全性
製品安全性の確保

Ⅴ. 公正取引・倫理
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理

Ⅵ. 情報セキュリティ

URL 「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」
https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

▶ 調達・購買におけるCSR活動の推進

E 2015年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対するご理解と実践をいただくことを取引の際の基本契約書に盛り込んでいます。既存のお取引先についても契約書の更新をお願いしており、概ね85%で再締結が完了しています。

遊 遊技機事業では、「生産購買外注管理規程」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規取引開始の際は所定の審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。継続監査にあたっては、毎期内容を見直し、お取引先においては、紛争鉱物、児童労働、公正取引などについて質問事項を記載したアンケートフォームをお送りし、セルフチェックを実施していただきました。2018年度は、47社を対象に実施しました。対象となる項目については、重要性をご理解いただいた上で、しっかりと取り組んでいただけていることを確認しました。引き続き、CSR調達の考え方ついては、継続監査を実施する際、お取引先に説明し、ご理解をいただけるよう活動していきます。

アミューズメント(AM)資材調達方針

[基本姿勢]

1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、
法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」及び
各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、
お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に努め、
協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、
相互繁栄を目指します。

▶ 下請法遵守体制の強化継続

遊 下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。例年11月に設定されている下請法強化月間における講習会への参加とその内容（変更点他）の水平展開をグループ会社の関係部門へも実施しています。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「セガサミーグループ企業倫理ホットライン」を設置しています。

なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることがないよう中立的な立場であるセガサミーホールディングスが対応し、担当役員が責任を持って対処します。

▶ 児童労働・強制労働の禁止

E 主に海外の委託工場などでの児童労働および強制労働の禁止についての取り組みを進めています。プライズ商品の調達に関しては、セガ・インタラクティブでは、購買部門および品質管理部門が合同で2ヶ月に1回、製造委託先の工場を訪問し、現場確認を含む当グループ社員および第三者による工場監査を実施しています(サプライヤー監査、カバー率約92%)。監査の結果、リスクが高いサプライヤーはありませんでした。

セガ・エンタテイメントでは、アミューズメント施設用のプライズ商品について、主要調達先への奴隷労働や人身取引に関するアンケート調査を実施し、管理状況の確認などを実施することによってリスク低減に努めています(サプライヤー監査、カバー率80%)。

玩具商品の調達に関しては、セガトイズでは、児童労働および強制労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約書の再締結の推進、購買部門社員や現地担当者の人権に関する研修の実施を行うとともに、第三者機関による製造委託先企業の労働基準順守証明書の取得状況のチェックなどを実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。

また、2019年2月から3月まで計4回、購買および調達担当者99名に対してCSR調達に関する研修を実施しました。2019年度は海外の拠点担当者についても研修の実施を計画しています。

▶ 英国現代奴隷法への対応

E 2015年3月に制定された英国現代奴隷法(Modern Slavery Act 2015)を受け、セガサミーグループの声明をホームページに開示しています。

URL **英国現代奴隷法に関する声明(仮訳)**
https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr_library/uk_modern-Slavery-Act-statement_jp.pdf

お取引先とのパートナーシップ

▶ サプライヤーとの連携

E セガ・インタラクティブでは、開発方針、調達方針などを説明するサプライヤーミーティングを開催し、環境配慮や品質への取り組み課題を共有するなど、サプライヤーとの連携強化に努めています。2018年度は85社143名のお取引先にご参加いただき、うち96%から「有益だった」との回答をいただきました。


2018年度サプライヤーミーティングの様子

▶ 協力会社との合同品質会議

遊 ユニット組立担当企業を対象に年1回の合同品質会議を実施しています。2019年2月の当会議では対象7社中全社(13名)に参加いただき、主に「パチスロ蒼天の拳」量産後の振り返りを通じて今後の製品開発に意見反映させる仕組みを提案しました。パートナー参加型のものづくり体制を再構築し、今後もQC(品質管理)を主軸に連携強化を図ります。

■ 合同品質会議の開催実績(2019年2月)

			合計
協力企業	参加社数(社)	7	7
	参加人数(名)	13	30
サミー	参加人数(名)	17	


合同品質会議(2019年2月)

社員とともに

グループCSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。
私たちは、社員がもつ限りない可能性を
最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

グループ行動規範

「職場環境の整備」

(1) 社員の安全と健康に配慮し、安心して勤労できる職場環境を構築します。

(2) 社員が個々の能力を十二分に発揮し得る、「働き甲斐」「やり甲斐」のある柔軟性に富んだ会社にします。

「ハラスメント」「差別」

(3) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、プライバシー侵害等、職場環境を乱す行為は行いません。

(4) 人種・信条・性別・年齢・障害・学歴・門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為は行いません。

「セガサミーカレッジ開校!」

2018年9月、セガサミーグループで働く仲間の学ぶ意欲を尊重し、セガサミーらしいリーダー育成を目指す「SEGASAMMY College」を開校しました。各種ビジネススキル講座や、他業界の方を招いての講演会など、さまざまなコンテンツを展開しています。

開校から半年で約1,400名に及ぶグループの仲間たちが肩を並べてともに学びましたが、どの講座でも会社の壁を越え、受講者間で活発なコミュニケーションが生まれており、大変嬉しく思います。また、自ら講師に立候補する「寄付講座」も増え、学び・育てる文化の醸成に向けた胎動を感じています。

私どものグループミッションである「感動体験を創造し続ける」の実現に資する人財成長の場として、またグループ従業員がともに学び刺激を受け合う場として、今後も『SEGASAMMY College』は進化し続けていきます!





セガサミーホールディングス(株)
グループ代表室 人財開発部
三原 真梨奈 (Mihara, Marina)

ダーツの魅力を世界に伝えみんなをハッピーに

我々オンラインサービス企画推進チームは、世界中の人に「ダーツ」の魅力を伝え、触れるキッカケを創るチームです。

1つ目に、グループ各社とのシナジーを活かしたタイアッププロモーションでの世の中への興味喚起。2つ目に、企業にいる、ハタラクダーツプレイヤーに向け、OFFICE DARTSLIVE（DARTSLIVEマシン企業設置）を通じたダーツでつながるFace To Faceのコミュニケーション創り。ダーツライブ社の企業哲学である「ヒトは、アソぶ。トモニ、アソぶ。」に沿ってスポーツとエンタテインメントの融合であるDARTSLIVEサービスを中心に、世の中に「スポーツエンタテインメント」を仕掛け、みんなをハッピーにしたいと思います。楽しいこと、面白いこと、大歓迎！我々チーム・ダーツライブにご期待ください。

チームメンバー

前列左から（3名）
- **東 なな**（Azuma, Nana）
- **勝谷 真帆**（Katsutani, Maho）
- **前田 大祐**（Maeda, Daisuke）

中列（1名）
- **谷津 郁騎**（Yatsu,Yuki）

後列左から（4名）
- **矢﨑 雅人**（Yazaki, Masato）
- **多久 輝**（Taku, Akira）
- **加藤 康行**（Kato, Yasuyuki）
- **竹之内 崇**（Takenouchi, Takashi）



（株）ダーツライブ
DLサービス戦略本部
オンラインサービス推進部オンラインサービス企画推進チーム
竹之内 崇（Takenouchi, Takashi）



サミー（株）
営業本部 営業企画部 プロフェッショナル
菅原 大介（Sugawara, Daisuke）



「営業本部の遊技機業界の勉強会」

これまでは言葉にまとめずとも暗黙知として伝えられてきましたが、企業の成長とともに社員が増えたことで、さらなるナレッジマネジメントの必要性を感じていました。

連携するグループ会社からは、当社の製品（遊技機）に関して、ホールコンピュータが集計した稼働データの見方や規則改正解説の要望を頂戴し、また、規則改正や内規変更の影響下の営業活動において、新製品の訴求ポイントを的確に伝えるために、関係する皆さまと勉強会を始め、これまでに約160人に参加いただきました。

「今さら聞きにくい初歩的なことから現在進行形の問題まで幅広く知ることができた」「正しい知識を身に付けることができた」「難しい内容を非常に理解しやすく説明してくださって大変感謝しています」など多くのご意見をいただき、成長し続けるためには、結果のみならずプロセスも重要だとやり甲斐を感じています。

今後もぱちんこ業界の“正しい知識”を社員と共有することで、より多くの方のお役に立ち、社会に貢献していきたいです。

TOPIC

「セガサミー そらもり保育園」開園

従業員の仕事と育児の両立支援を目的に2019年4月1日に企業内保育所「セガサミー そらもり保育園」を開園。園内には「セガの森」がある長野県南佐久郡南相木村のカラマツ材を内装に使用するなど子どもたちの好奇心を刺激し、豊かな創造性を育むことができる環境を演出しています。産休・育休明けのスムーズな職場復帰や多様な働き方を支援するとともに、子育てに携わる従業員がいきいきと活躍できる環境整備に取り組んでいきます。

※「ノース・つくし保育園（千歳市）」に続き、グループ内2園目の開園。

森をイメージした保育ルーム





子どもの創造性を育む教育環境

東京パラリンピック2020を目指して

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートのフィットネス「ジ・オーシャンクラブ」のプールで、56年ぶりに日本で開催される東京2020パラリンピックを目指して、日々トレーニングを重ねている前田一成さん(ジ・オーシャンクラブ会員)の指導を行っています。

今、前田さんをパラリンピックに出場させてあげることが最大の目標です。せっかくの日本開催でもあり、私自身も審判員として参加し、2人でパラリンピックの舞台に立つことができれば、こんなに嬉しいことはありません。



パラリンピックに出場するためには基準タイムのクリアなど、乗り越えなければならない壁がありますが、夢の大舞台に立てるよう、頑張っていきたいと思います。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

※ 宮崎県内の病院勤務時代、日本障がい者スポーツ指導員の資格を取得(2000年)して以降、様々な障がい者スポーツの取り組みに参加。日本水泳連盟B級審判員などの資格も取得。前田さんの出場する大会に帯同すると同時に大会の審判員も務める。



フェニックスリゾート(株)
ジ・オーシャンクラブ
川越 美希 (Kawagoe, Miki)

TOPIC

働き方改善のヒントを生み出す情報交流サイト「わくらぼ」を開設

セガサミーグループは2018年、個人個人の創意工夫による自発的な「働き方改革」を推進することを狙いとした情報交流サイト(イントラ)「わくらぼ」を開設しました。グループ各社の取り組みを集約・共有し、社内の様々な取り組み事例を発信することで、会社の垣根を越え「働き方改革」の共有が活発に行われています。

「わくらぼ」編集部より

セガサミーグループの働き方改革が本格的に始動して2年。いざ“働き方改革を取り組もう!”と思っても何から手をつけていいかわからない。そんな時に誰かの“工夫(知恵)”をヒントにして、自分ならではの“働き方”“休み方”を考え、動いてみる。そんな個人やチームが行う小さい取り組みの積み重ねが、やがて大きな改善(改革)につながっていく、との思いから開設したのが働き方・休み方サイトの『わくらぼ』です。

サイト開設から1年半、「働き方改善7つのテーマ」の実現を目的とした“働き方”や“休み方”の改善事例を紹介しています。サイトの主役は現場(従業員)とし、働き方改善(改革)の一歩を踏み出す際のヒントとなるサイトを目指しています。

各社の取り組みや個人の体験談(育児・介護との両立、副業体験)など、グループ内だけでなく、外部企業様との情報交換で得た“気づき”なども掲載、毎月更新をしています。



働き方改善7つのテーマ

① 長時間残業の更なる是正
② 業務の見える化・属人化の改善
③ フレックスや在宅勤務など多様な働き方の実現
④ 介護・育児の支援と、女性活躍
⑤ 健康指標管理の導入
⑥ 教育機会の提供による能力開発
⑦ 会社目標設定および人事評価制度への反映

人財の育成と評価

人事制度

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。また、定期的に「従業員満足度調査」を実施し、社員の課題認識や期待値・不満度などを確認の上、モチベーションの向上に向けた各種人事施策へと展開しています。

育成環境面では、新入社員一人ひとりに対して公私両面のサポートを専任で行う「コーチ制度」を設けているほか、「新入社員フォロー研修」「2年目研修」など、若手社員の成長を支援する教育体系が整備されています。

評価・報酬面では成果や行動発揮に加えて時間生産性を考慮した評価／インセンティブを導入し、生産性の高い働き方を実現した社員に報いる取り組みを進めています。

遊 社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」の自己選択型の制度を整備しています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、また成果貢献に応じた適正な処遇により社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、人財育成については階層別研修に加えて、管理職に対する能力開発機会の提供を充実させマネジメント力の向上や公平な評価の実現についても強化を図っています。社内表彰制度では、2018年度の会長賞・社長賞は10案件63名が、社員のチャレンジをより奨励するための「積極進取賞」では33名が表彰されました。さらには、積極進取の精神でアイディアを会社へ提案する制度『やっちゃえG30』を2016年より発足させ、これまでの3年間で約450件の提案があり、うち55件が具体的な施策として実現しています。そのほか、社員満足度調査や、将来的にチャレンジしたい仕事の自己申告制度など、様々な施策を展開しています。これらの成果もあり、過去5年の離職率は約2%と、今後も社員がいきいきと働ける環境づくりを進めていきます。

多様性の推進

女性活躍推進

E 女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備して企業の成長につなげるため、行動計画を策定して目標達成に向けて取り組んでいます。

セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブでは、2016年から2020年までの4年間を計画期間として、新卒採用における応募者の女性割合を30%以上とする目標を掲げ、性別にとらわれない公正な選考に向けたガイドラインの策定や、大学などと連携した女子学生向けセミナーを実施していきます。また、社員の育児休業後の復職定着率100%の実現を目標とし、休業中の方への情報提供や、子が3歳になるまでは育児短時間勤務であってもフルタイムと同様の給与を支給する福利厚生などを取り入れています。

遊 育児休業中の社員に対するキャリアと育児の両立支援を目的に、休業中のキャリアブランクを無くすための能力開発機会としてeラーニングを導入したり、会社の状況を把握できるようコミュニケーションツールの導入を行っています。また、女性社員が求めるキャリア開発施策について、自らが考え、よりニーズに合った施策を導入するために、女性社員による検討プロジェクトチームを立ち上げて活動を行うなど、能力アップ支援の取り組みを継続的に実施しています。

人権の尊重

ハラスメント撲滅への取り組み

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、すべての社員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。社内研修やイントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員（受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む）が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

働きやすい職場環境の整備

ワークライフバランスの推進

E グループとして取り組んでいる「働き方改革」の一環として、セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブの3社に、2017年7月より「フレックスタイム制度」を導入しました。従業員一人ひとりの時間管理意識を高め、労働生産性の向上およびワークライフバランスの充実を目指しています。また、2018年7月より一部の副業を認める「ＪＯＢ＋(ジョブプラス)制度」を、2019年2月よりLGBTの社員に向けた支援制度を導入し、多様性を尊重した取り組みを進めています。さらに、セガホールディングスでは2019年4月より自宅等オフィス以外の場所で働くことを認める「在宅勤務制度」を導入しました。介護・育児・看護等の様々な諸事情と、仕事の両立の一助となる本制度により、安心して働ける環境を整備しています。

遊 フレックスタイム制度、2018年4月から正式導入した在宅勤務制度、育児、介護等の事情を抱えた方向けに短時間勤務者用のフレックスタイム制度を導入しています。また、ＪＯＢ＋制度の導入により、本業(サミーでの仕事)だけでなく、自身の経験値アップや自己実現ができる環境を整えています。

サミー川越工場では、生産計画を中期的に捉え、繁忙の狭間を積極的に有休取得し、労働時間にメリハリをつけた働き方を奨励しています。また、会社全体で推進している「テレワーク」に対しては工場関係従事者としての取り組み方を検討・推進するとともに、他本部員向けに川越地区内にサテライトオフィスを新設しました。埼玉県の「多様な働き方実践企業※」のゴールド認定のもと、県主催の女性活性化セミナーへ工場勤務の女性社員が参加し、働きやすい職場環境の向上・整備に努めています。

※ 多様な働き方実践企業：認定要件6項目のうち、要件を満たす項目数によって「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」に区分されます。

労働安全への取り組み

遊 E 社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするための取り組みを進めています。万が一、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。

サミー川越工場では、社員自らが身のまわりにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S※パトロール」活動や、さらにセキュリティと節電の二つのSの観点を加えた「8Sパトロール」活動を行うなど、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。

遊 2017年度は、安全衛生委員会を通じて2016年度に実施したリスクアセスメントの結果を踏まえ、工場建屋外周の一部に安全歩行帯を設置、工場内においては製品搬送ラインにガイドワイヤーを増設しました。また、工場独自の「安全基準」については、その内容をブラッシュアップし、当社生産現場の実情に即した基準(ガイドライン)へ昇華させています。このほか、営業担当者は自動車の安全運転を心がけており、無事故無違反期間が1年以上の場合に取得できるSD(Safe Driver)カードを年に一回発行しています。

※ 6S：整理・整頓・清掃・清潔・躾・セーフティー

健康管理

遊 E 大崎にグループ会社が集約したのを機に、セガホールディングスの健康管理センターとサミーの医務室を統合し、SSHDの健康管理センターを設置しました。産業保健スタッフが4名常駐し、勤務中いつでも相談できる体制を整え、より専門的な相談には内科、精神科の医師が交代で勤務することにより対応しています。

また、毎月実施している安全衛生委員会は大崎勤務者が共通認識を持てるよう、SSHDを中心にグループ会社合同で実施することにしました。議事録や関連情報は各社の社内WEBサイトに掲載し、社員への周知・注意喚起に努めるとともに、まだ参加していない会社の加入を促進していきます。各社で個別に実施していたインフルエンザの集団予防接種やストレスチェック、課題となっている風疹対策についてもグループ全体での検討としていく予定です。

定期健康診断は実施率100%を目指し、巡回健診の継続、人間ドック受診料の補助などの支援を続け、安全衛生の観点から会社独自の基準を設け、健康管理面談を実施し、未病の改善、生活習慣病の予防に努めています。

フレックスタイム制度の導入で長時間労働面談対象者は減少してきていますが、長時間労働者に対して問診票を配布し、健康状態を確認するとともに、所属長への労働時間管理の徹底および休暇取得促進などを実施することで、グループ社員が健康でワークライフバランスのとれた生活ができるようにバックアップしていきます。

CSR研修

2013年度から、グループ企業の社員に向けてCSR研修を実施しています。2018年度は25回開催し、898名が受講。通算では127回の開催で、グループ18社の3,329名が受講しました。「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」という２つのテーマについて、講義やグループワークを通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会との関わり方について考える機会を創出しています。

2018年度の開催実績

企業名	開催日		参加者数（名）	対象者
5社合同（SSHD、SAMMY、SHD、SGC、SIC）	2018年	3月27日	48	一般社員
		3月28日	49	
		6月14日	38	
		6月15日	49	
		6月21日	37	
		6月22日	38	
		6月27日	42	
		10月15日	34	
		10月16日	32	
		10月22日	33	
		10月23日	28	
		11月6日	33	
		11月7日	37	
		11月28日	37	
	2019年	2月4日	32	プロフェッショナル職
		2月6日	29	
		2月27日	30	
		3月6日	27	
SSGE	2018年	4月10日	61	一般社員
PSR	2019年	1月10日	10	グループ新入社員
		1月11日午前	23	一般社員
		1月11日午後	13	
新入社員	2018年	11月8日	49	グループ新入社員
	2018年	11月9日	38	
	2018年	11月28日	51	
2018年度計	計25回		計898名	
2013年度からの総計	計127回		計3,329名	

CSR研修プログラム

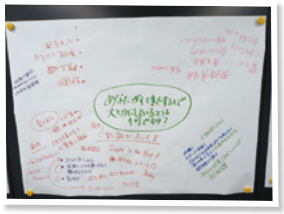
14：00　開会、研修趣旨説明
14：15　講義①「社会と企業の共生」
　　講義②「セガサミーグループCSR活動」
15：15　休憩
15：25　グループワーク①（ワールドカフェ）
16：45　グループワーク②（ワールドカフェ）
17：20　発表
17：45　「私のCSR宣言」、「受講アンケート記入」
18：00　閉会

※ 対象によって一部内容が異なります

研修の様子と受講後アンケート

- CSR研修では、まず講義で「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」について理解を深めます。
- その後ブレインストーミングや討論によるグループワークを通じて、互いの意見や社会課題解決へのアイディアを共有しています。
- グループ間交流もできるため、研修受講後のアンケートでは、85％以上の方が「役に立った（楽しかった）」と回答しています。また、受講者の90％がCSRの重要性について理解を示し、91％以上の方が、CSRの取り組みと企業の持続可能性について関連が大きいと考えています。





受講者コメント

- すべての場面で貢献することができないが、自分達がやっていることが何を生み、何のためになるか、そして逆にどのように助けられるのかを深く考えられて良かったです。
- 自分が今まで感じていた以上にセガサミーグループが社会に提供している価値が多くあるんだということに気が付けたので、グループワークでのディスカッションは特に有意義に感じました。
- 社員間の交流が有意義だった。CSRの意味が良く理解でき、仕事に責任と楽しみをもって取り組みたいと思った。
- CSRというものの理解を深めることができ、これからも自分にできる貢献がないかいろいろと挑戦していきたいです。
- グループミッション、CSRについて理解が深まり、セガサミーグループ一員として社会的意義を果たす使命感に駆られました。
- あらためて日々の業務が何になるべきか、つながるべきかそのように行動できているかをみつめ直すきっかけになりました。

人事・労務に関するデータ

対象範囲・集計方法

●2016年度：国内16社、海外2社（社員構成のみ）、2017年度および2018年度：国内15社、海外2社（社員構成のみ）
※ 2018年度のカバー率：売上比率約9割以上、正規雇用人数比約7割以上
SSHD/SHD/SIC/SGC/SE/SLS/TMS/TOYS/DL/SAMMY/SNW/BTF/JMS/JNEXT/PSR
海外：SOA（Sega of America,inc.）/SOE（Sega Europe Ltd.）

※略称は、P.02参照

● 社員構成

		2018（国内15社）			2018（海外2社）		
		合計	男性	女性	合計	男性	女性
社員数（名）		12,631	8,356	4,275	248	177	71
	正規雇用	5,667	4,634	1,033	248	177	71
	非正規雇用※	6,964	3,722	3,242	—	—	—
社員数うち外国籍		108	68	40	—	—	—
平均年齢（歳）		40.3	41.0	37.2	—	—	—
平均勤続年数（年）		12.5	13.0	10.0	—	—	—

※ 2018年度より非正規雇用にアルバイトを含めています。

● 障がい者雇用

	2016	2017	2018
雇用人数（名）	168	205	212
雇用率（%）	1.90	2.12	2.14

● 管理職・役員構成

	2016	2017	2018
女性管理職者数（名）	78	81	102
女性管理職比率（%）	6.7	5.0	6.6

2018年度の内訳

		合計	専門職級	課長職級	部長職級	執行役員級	役員級
役職者別人数（名）		1,550	325	845	251	47	82
	男性	1,448	300	780	241	46	81
	女性	102	25	65	10	1	1
女性比率（%）		6.6	7.7	7.7	4.0	2.1	1.2

※ 2018年度より役職者に専門職を含めています。

● 採用

	2016			2017			2018		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数（名）	124	74	50	139	86	53	135	84	51
新入社員離職率（%）（入社3年後）	23.9	17.3	46.7	20.4	16.4	28.1	15.7	5.3	31.4
中途採用者数（名）	212	161	51	226	169	57	224	133	91
定年後再雇用者数（名）	43	35	8	43	40	3	57	50	7

● 労働安全衛生

	2016	2017	2018
労働災害発生件数（件）※	1	0	1
労働災害度数率	0.1	0	0.1

※ 労働災害発生件数＝休業災害の件数

● 両立支援制度利用実績

	2016			2017			2018		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休業取得者数（名）	45	—	45	55	—	55	66	—	66
育児休業取得者数（名）	82	12	70	95	21	74	130	24	106
育児休業復職者数（名）	57	12	45	56	20	36	82	22	60
育児休業復職率（%）	—	100	90.9	—	100	98.6	96.5	100	95.2

※ 2016年度の男性の育児休業取得期間の内訳：
1週間以内 7人、1週間～1ヶ月2人、1ヶ月以上3人

● ワークライフバランス

		2016	2017	2018
月平均時間外労働時間（時間）		17.3	21.9	19.7
有給休暇取得日数（日）		8.2	11.5	12.5
	一般社員	—	12.2	13.1
	管理職	—	9.3	10.5
有給休暇取得率（%）		46.2	63.7	69.5
	一般社員	—	69.4	75.1
	管理職	—	48.0	54.5
年間休日		125.1	124.1	125.8
ボランティア休暇のべ取得人数（名）		57	46	42
ボランティア休暇のべ取得日数（日）		92	70	101

注記

■ 社員構成　非正規雇用
2018年度から契約社員（有期雇用）、アルバイト、パートを含め人数を算出しています。

■ 平均残業時間
「働き方改革」を推進しており、2017年より裁量労働対象者についても可能な限り、在社時間等で残業時間に含めています。

■ 有給休暇取得率
年間の有給休暇取得日数を年間の法定有給休暇付与日数で除して算出しています。
なお、2017年より管理職と一般職に分けて開示しています。
また一部グループ企業で採用している法定外有給休暇も加味しています。

■ 年間休日
対象会社の年間休日を正社員の人数比で加重平均しています。

● 両立支援制度の例

育児

制度	SSHD、SHD、サミー等
育児休業制度	子が2歳に達した日以降も保育所に入所できない場合は、その後初めて到来する4月の保育所入所日まで
短時間勤務	小学就学まで最長2時間/日 小学3年生まで退勤時間を最長1時間短縮可

介護

制度	SSHD、セガHD、サミー等
介護休業制度	93営業日／名（介護短縮時間勤務含む）
介護短時間勤務	93営業日内で最長2時間／日
介護休暇	積立年休の保有日数を限度とし、 長期介護休暇を取得可

株主・投資家とともに

グループCSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通し、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

グループ行動規範

「透明性の高い経営」「双方向コミュニケーション」

(1) 法令その他のルールに則り、会社情報を適正かつ公正に開示し、経営の透明性の確保に努めます。

(2) 株主の声に積極的に耳を傾け、双方向性のある対話型コミュニケーションに努めます。

「積極的かつ公平な開示姿勢」

(3) 投資家の理解に資する会社情報の積極的な開示に努めます。

(4) 全ての投資家と公平に接し、会社情報の偏在防止に努めます。

「適正な利益還元」「企業価値の最大化」「永続性」

(5) 効率的な資産運用と、適正な利益還元を行います。

(6) 世界の情勢や動向に常に目を配り、社会の期待に応えながら、企業価値の最大化と継続的な成長を目指します。

「インサイダー取引」

(7) インサイダー取引に関する法令※・社内規程・ルールを遵守し、未公表の重要事実を厳格に取り扱います。

※ 金融商品取引法第166条等をいう。

VOICE



セガサミーホールディングス(株)
財務経理本部
山根 絵美 (Yamane, Emi)

コミュニケーションを通じて、株主・投資家の皆さまの信頼を

四半期ごとの決算資料作成、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション、株主通信をはじめとするコミュニケーションツールの作成などを担当しています。

IRの業務では、セガサミーグループ全体の業績や事業戦略、その背景などを深く理解し、迅速、正確かつ分かりやすく発信していくことが非常に重要です。併せて、株主や投資家の皆さまとのコミュニケーションを通じて、セガサミーグループがどのように評価されているか、何を期待していただいているかを理解し、社内に伝えて、皆さまの期待に応える会社を目指すサポートをすることも大切な役割と考えています。

これからも株主・投資家の皆さまと、多くのグループ企業との間で積極的かつ双方向のコミュニケーションを心掛け、信頼関係を築き、両者の間をつなぐ架け橋となれるよう、一歩一歩努力を重ねたいと思っています。



株主・投資家への情報開示

IRポリシー

セガサミーホールディングスは、「IRポリシー」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動などの情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示します。

セガサミーグループIRポリシー
https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ir_policy/

株主・投資家とのコミュニケーション

▶ 開かれた株主総会の実施

より多くの株主の皆さまに定時株主総会にご出席していただけるよう、できるだけ集中日を避けるとともに、2019年度は、新本社の講堂（大崎ガーデンタワー）で開催し、184名の株主の方々にご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営を心掛けていきます。

▶ IR活動

国内外における投資家向け説明会などの実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお応えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリスト向け決算説明会を半期に1度開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しています。当社事業への理解を深めていただくため、証券アナリスト向けの施設見学会や勉強会なども行っています。個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、個人投資家向けイベントなどにも参加しています。


個人投資家向け説明会

● IR活動実績

	2017年度	2018年度
決算説明会（四半期毎、電話会議を含む）	4回	4回
スモールミーティング	1回	2回
個別ミーティング（国内）	117回	128回
個別ミーティング（海外）	195回	169回
事業セグメント別説明会（施設見学会を含む）	4回	3回
海外ロードショー（カンファレンスを含む）	7回（北米3回、アジア2回、欧州2回）	5回（北米1回、アジア2回、欧州2回）
国内カンファレンス	4回	4回
個人投資家イベント	2回	1回

IR活動に対する外部評価

2018年度にセガサミーグループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは下記の通りです。

統合レポート
https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual/

- 2018年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定
  広告・メディア・エンタテインメント部門　1位
  公益社団法人日本証券アナリスト協会（2018年10月）
- 2018年インターネットIR表彰　優秀賞受賞
  大和インベスター・リレーションズ株式会社（2018年11月）
- Gomez　IRサイト総合ランキング2018　銀賞受賞
  モーニングスター株式会社（2018年11月）
- 2018年度　全上場企業ホームページ　充実度ランキング
  総合ランキング23位　日興アイ・アール株式会社（2018年12月）

適正な利益還元

利益配分に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2018年度は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

▶ 株主優待拡充のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社のサービスを体験していただくことを目的に、2018年2月より株主優待制度を導入していますが、このたび、導入後にいただいた皆さまからのご意見も参考に、株主優待を拡充しました。

基準日	保有株式数	①	②	③	④
3月末・9月末（年2回）	100～999株	1,000円分	—	—	—
	1,000～2,999株	1,000円分	10,000円分	—	—
	3,000～4,999株	1,000円分	20,000円分	—	—
	5,000株～	1,000円分	20,000円分	1枚	1枚

① 日本国内のセガゲームセンターのUFOキャッチャーまたは「セガキャッチャーオンライン」で利用できる利用券
② フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎県）で利用できる施設利用券
③ フェニックス・シーガイア・リゾート内、シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート（宮崎県）1泊宿泊券1枚（1部屋大人2名まで）
④ 「PARADISE CITY」内、「PARADISE HOTEL & RESORT」（韓国・仁川）1泊宿泊券1枚（1部屋大人2名まで）